

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名 No. 700106 青少年補導員活動事業		主管課名 子育て支援											
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成		課長名 増岡 総一郎									
		施策	地域で青少年を支えるまち											
		基本事業	青少年の健全育成											
	(1)事業の概要													
	社会全体の問題の反映ともいえる青少年をめぐる問題の解決には、 地域社会全体による、より積極的な健全育成活動、保護育成活動の 推進は不可欠である。地域における青少年の非行防止のため、青少 年補導員による補導活動を実施する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)										
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>街頭補導活動実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>全体会議・合同会議開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	街頭補導活動実施回数	回	全体会議・合同会議開催回数	回	その指標		
	名 称	単 位												
	街頭補導活動実施回数	回												
	全体会議・合同会議開催回数	回												
その指標														
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等) 定例街頭補導活動：毎週木曜日及び第3月曜日（10月～5月：16:00～18:00、6月～9月：17:00～19:00） ただし、祝日・年末年始及び最終木曜日を除く。 特別補導活動：三好池まつり、いいじゃんまつり 日常的な担当地区の見回り 全体会議：補導員の連絡調整。原則毎月最終木曜日及び合同会議（年3回）														
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	定例街頭補導活動：毎週月曜日・木曜日（3～5月、10～11月：17～18時、6～9月：18～19時、12～2月：16～17時）ただし、祝日・お盆・年末年始を除く。											
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)											
18歳未満の人口			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>青少年人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	青少年人口	人	その指標					
名 称	単 位													
青少年人口	人													
その指標														
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)											
青少年が問題行動をしなないようにさせる			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>補導員の青少年への声掛け延日数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	補導員の青少年への声掛け延日数	件	その指標					
名 称	単 位													
補導員の青少年への声掛け延日数	件													
その指標														
(4)結果(上位基本事業の意図)			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)											
心身ともに健全に成長してもらう			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>青少年補導員の定期巡回箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>子ども会加入率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>成人式への出席率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所	子ども会加入率	%	成人式への出席率	%	その指標	
名 称	単 位													
青少年補導員の定期巡回箇所数	箇所													
子ども会加入率	%													
成人式への出席率	%													
その指標														
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標														
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値						
(5)の活動指標		回	48	48	85	90	90	90						
		回	12	12	12	12	12	12						
(6)の対象指標		人	13,893	13,784	13,800	13,800	13,800	13,800						
(7)の成果指標		件	203	163	160	160	160	160						
(8)の結果の成果指標		箇所	89	146	146	146	146	146						
		%	82	84	84	84	84	84						
		%	80.3	78.7	83	83	83	83						
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	10	項	05	目	02			
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値						
事業費(決算又は予算額)		単位	3,052	2,843	3,094	2,794	2,794	2,794						
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0						
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0						
	その他	千円	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	千円	3,052	2,843	3,094	2,794	2,794	2,794						
人件費B		千円	400	1,854	1,854	1,854	1,854	1,854						
正職員従事時間×人数		時間×人	53×2	250×2	250×2	250×2	250×2	250×2						
正職員以外の人件費		千円												
その他費用C		千円	58	171	171	171	171	171						
トータルコストA+B+C		千円	3,510	4,868	5,119	4,819	4,819	4,819						
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/人	0	0	0	0	0	0						

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	700106	青少年補導員活動事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	昭和54年度から			青少年補導員の高齢化が進んでいるので、70歳で再任を妨げるべきである。 また、女性の若年の方を推薦してもらったほうがよい。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
問題のある青少年の早期発見と早期補導、また、青少年の非行防止、危険防止及び環境浄化のため。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化し 青少年を取り巻く環境の悪化、青少年の非行行動が増加している。		

3 評価(SEE)	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
			自治事務	→	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する	
					この事務を行う根拠又は理由	みよし市青少年補導員設置規程	
		(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく		理由		
			結びつかない	→			
		(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	→	内容		
			できない	→			
				拡大			
				縮小			
		(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	→	内容		
	できない	→					
		追加					
有効性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	→	理由又は内容	自主防犯パトロール隊に青少年補導についても担ってもらえるか検討する。		
		多少影響がある					
		影響はない					
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	地域で自主的に青少年補導活動を実施してもらう。		
		できない					
	1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？						
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある	→	類似事業名	ある	内容	
		ない	→				
			庁内事業				
			庁外事業				
			類似事業との再編の可能性	ない			
効率性	(8)現在の成果水準のまま事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	→	内容			
		ない					
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	→	内容			
	ない						
公平性	(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	→	内容			
		ない					
		現状で適正					
		検討が必要					
		受益者がいない					

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	平成26年度から定期補導を週2回とし、より多くの地域を巡回できるようにした。 また、イオンで警察が行う補導に参加し、補導方法についての知識を習得した。					